

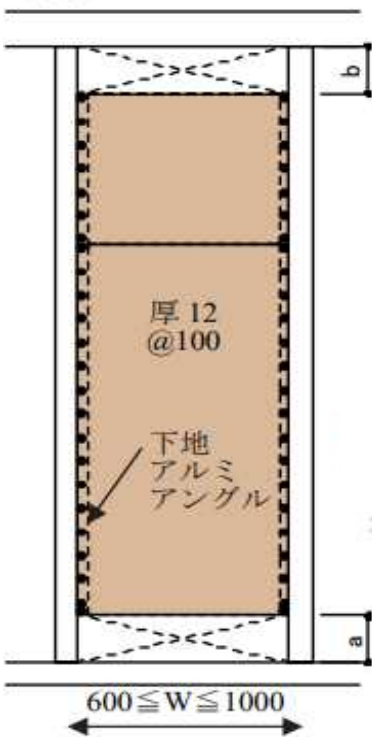


安価な耐震改修工法 評価番号 **A-435 真壁上下あき (アルミ下地)**

技術概要

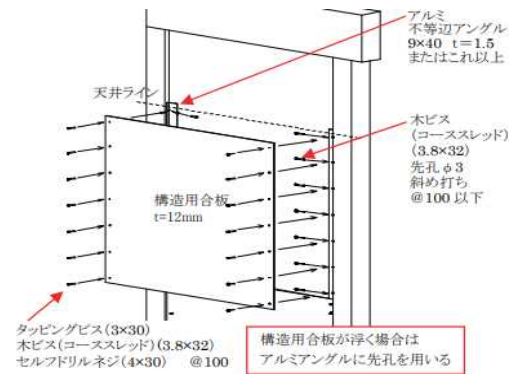
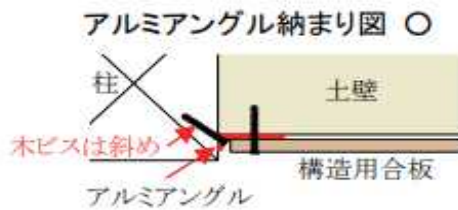
床、天井間のみをアルミアングルと構造用合板で補強する工法。

写真・図



技術の特徴

- ・ 土壁・天井・床を解体することなく真壁や入隅に施工可能(お財布に優しい工法)
- ・ 真壁の仕上がりで補強が可能
- ・ 壁体内に土壁や設備配管が存在しても施工可能



主要構成部材の仕様

- ・ 構造用合板 厚 12mm以上
 - ・ タッピングビスφ3×L30 木ビス(コーススレッド)
 - ・ φ3.8×L32セルフドリルネジ、φ4×L30のいずれか
 - ・ @100mm以下、川の字打ち
 - ・アルミ不等辺アングル 9×40 t=1.5またはこれ以上のサイズのもの
 - ・JIS H4100のA 6063-T5 またはこれと同等の強度を有する木ビス
- φ3.8×L32、先孔φ3アングル角部を斜め打ち、@100mm以下
A-435 壁基準耐力 $5.2 \times 0.8 = 4.16\text{kN/m}$

部分開口

$a+b \leq 370\text{mm}$
それぞれの構造用合板
高さ 400mm 以上

アルミアングルは
正面から見て 40mm

同じ「上下あき」でも A-233 大壁「裏残なし」の場合

$5.2 \times 0.7 = 3.64\text{kN}$ (勝ち 3.64・負け 2.6・単独 2.6 があります。)

出典:愛知県建築地震災害軽減システム研究協議会

(公社)愛知県建築士事務所協会東三河支部長 萩本一級建築士事務所 電話 090-1233-5119

文責:萩本 茂夫